

Q.

善知鳥村は寂しい村だったのですか？

A.

青森市の歴史を綴った図書には、青森町の前身とされる善知鳥村はここを訪れる人もない寂しい漁村（閑村・寒村）であったと記すものが多いのは確かです。しかし、それを裏付ける記録はなく、近年では善知鳥村があったという時期に堤川河口部に港町が形成されていたとする見解が通説的となり、「寂しい漁村」のイメージは克服されたといっていでしょう。

一方、より根本的な問題として、善知鳥村はどこに存在したのか、さらにいうと善知鳥村は本当にあったのかという点について未だに実証されていないということがあげられます。近年では善知鳥村ではなく、「善知鳥安瀉村」が藩政時代以前に沖館川河口部にあったという見解も示されています。ですから、これらの問題は「古くて新しい課題」なのです。

また、「善知鳥村が青森に改称した」とする説も一般に膾炙していますが、これを否定する藩政時代の史料が複数発見され、「青森」という地名の誕生伝承に、「善知鳥村」はまったく関りがなくなることが明らかになりました。これにしたがうと、善知鳥村が青森町の前身であるという従来の見解は改められなくてはなりません。

〈参考文献〉

『浪岡町史』第2巻（浪岡町 2004年）

工藤大輔「あなたは地域の歴史に興味はありますか～歴史的事実と伝承の間に～」(『平成29年度青森県学術文化振興財団懸賞論文受賞論文集』2018年)